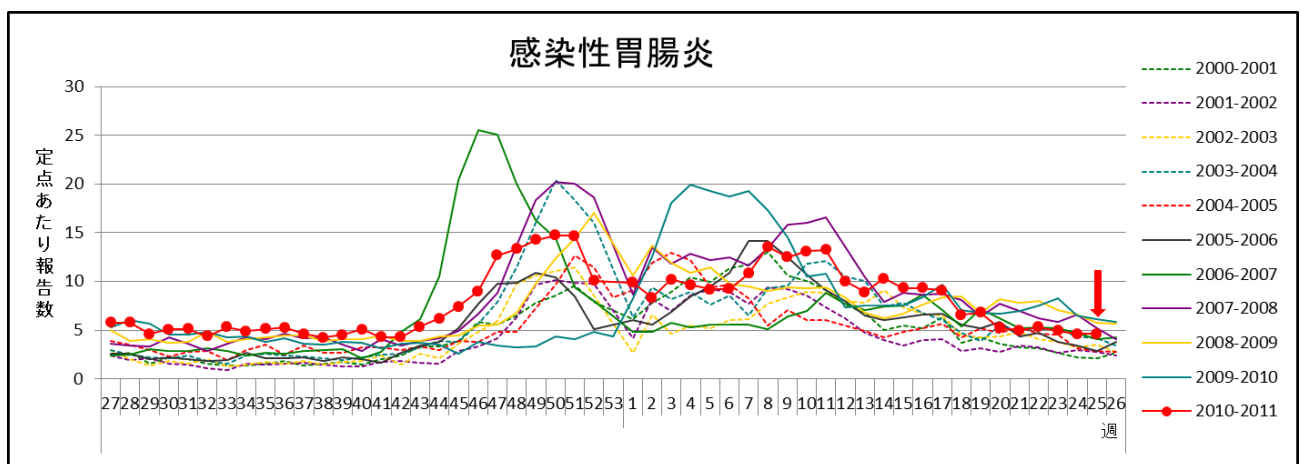


感染性胃腸炎情報 2011 年 第 25 週 (6 月 20 日 ~ 6 月 26 日)

第 25 週 (6 月 20 日 ~ 6 月 26 日) の県内定点医療機関 (54 定点) からの患者数は、県内全域では前週と同数でした (249 → 249 人 定点あたり 4.61 → 4.61 人)。岡山市 (3.71 → 2.50 人) では発生が減りましたが、倉敷市 (2.73 → 4.73 人)、備北地域 (4.75 → 7.25 人) では発生が増えています。

梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎にも注意が必要です。岡山県では現在『[食中毒注意報](#)』発令中です。食中毒予防の三原則は『食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」』です。食品の取り扱いには十分気をつけ、手洗いを励行するなどして感染予防に努めましょう。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週 ~ 今年26週を1 シーズンとして、グラフを作成しています。